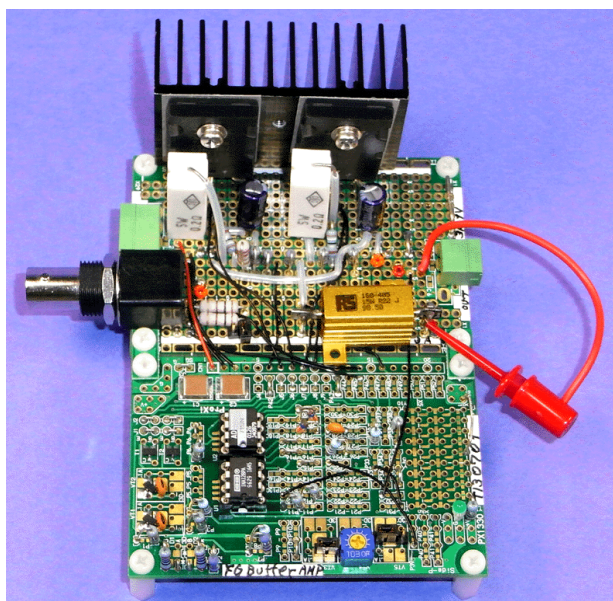


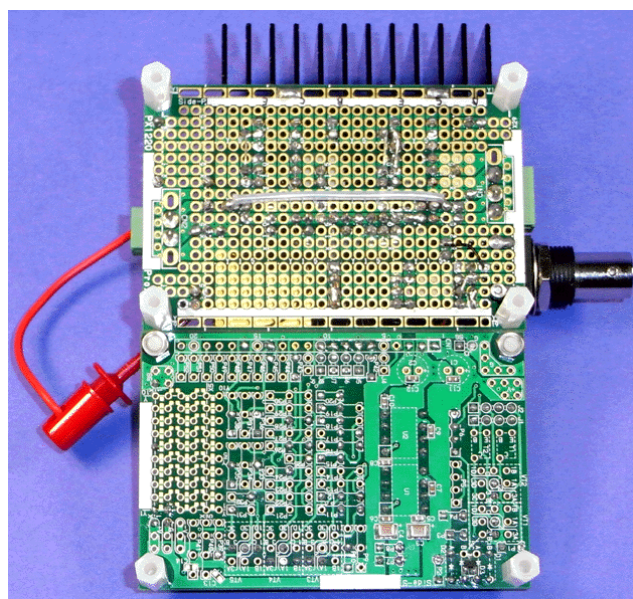
1. 概要

機能・特長	ファンクションジェネレータのバッファアンプ CC（定電流動作）、CV（定電圧動作）選択可能 低入力インピーダンスの電流／電圧変換回路の電流印加試験（CC）に最適
使用オペアンプ	INA128PA（テキサスインスツルメンツ）、 AD711JN（アナログデバイゼズ）
電源（+V、-V）	±5V、各3.2A
入力（出力／入力比）	0～±3V（CC時：1A／1V、CV時：1V／1V）
出力	1V～3A（CC時）、3V～3A（CV時）
2D配線	14本 VT3、VT5をピンヘッダによる設定部に使用して省配線化した。
備考	PX1330と大径スルーホール基板PX1220を基板ジョイントPX1240で水平連結し、一枚基板化する事により組み立てが簡単。 各種測定器のプロブグランド接続の為に大きなグランドバーを設置。 ヒートシンクはシャーシ不使用、短時間使用を前提とする。本回路をシャーシに内蔵する場合はヒートシンクを大きくする事を推奨。 f _c = 150kHz（CC時出力3Aにて実測）

2. 外観



Side - P



Side - S

3. 回路図

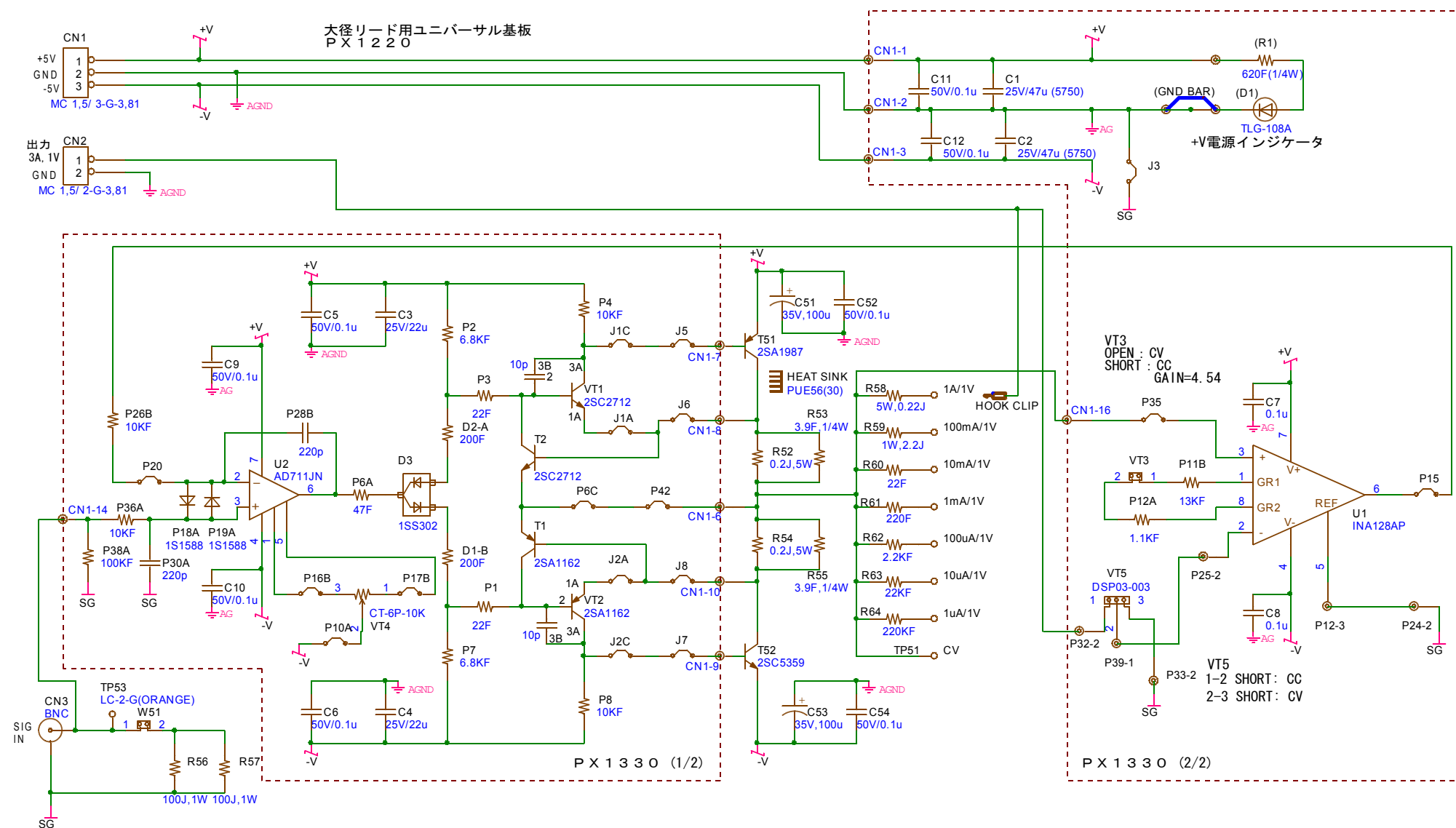
部品実装図を反映した最終形態の回路図を2頁に示します。

回路図中の部品はメーカー廃品種になっている場合があります。その場合は適宜代替品に読み替えて下さい。

4. 部品実装図

テンプレートを用いて部品実装設計を行なった部品実装図を3頁、4頁に示します。

● 回路図（バックアノテート後の完成形態）



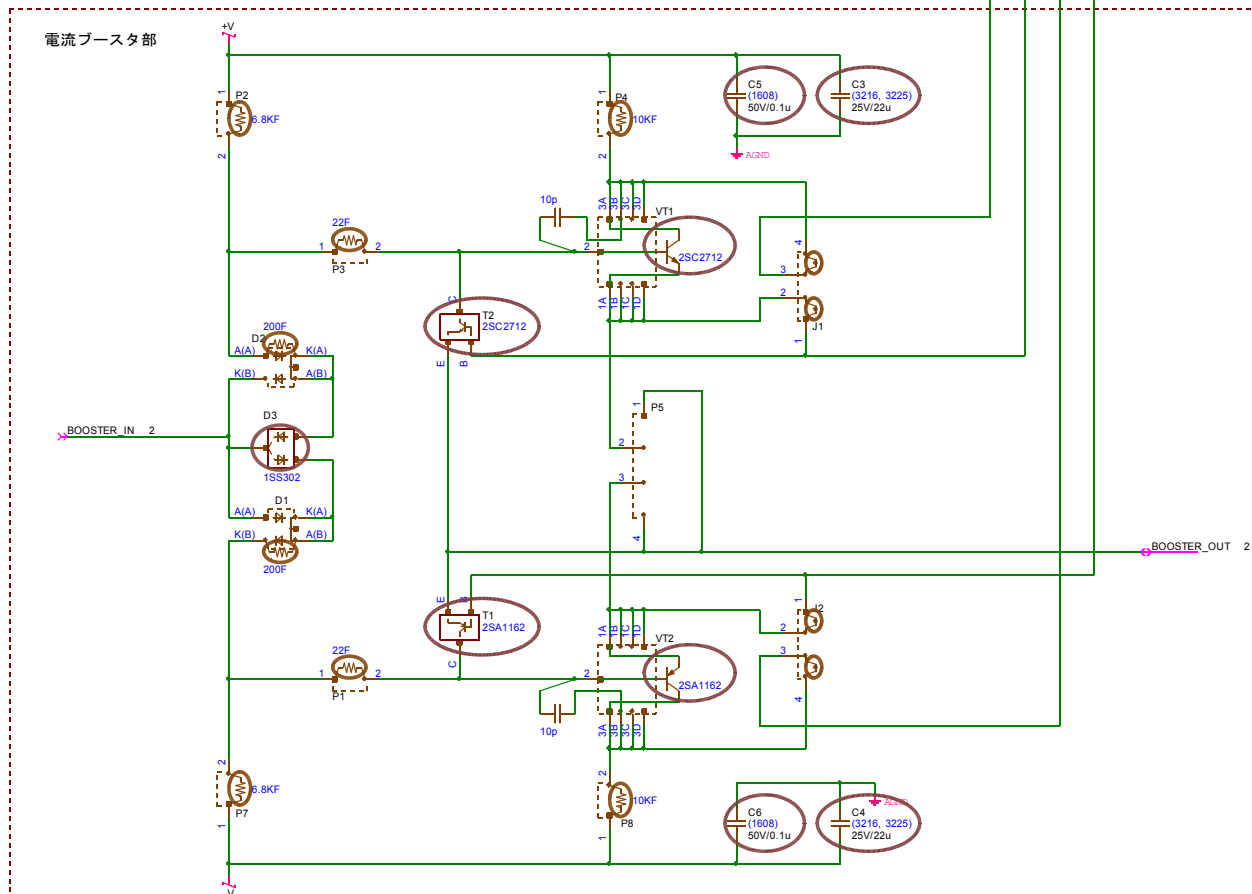
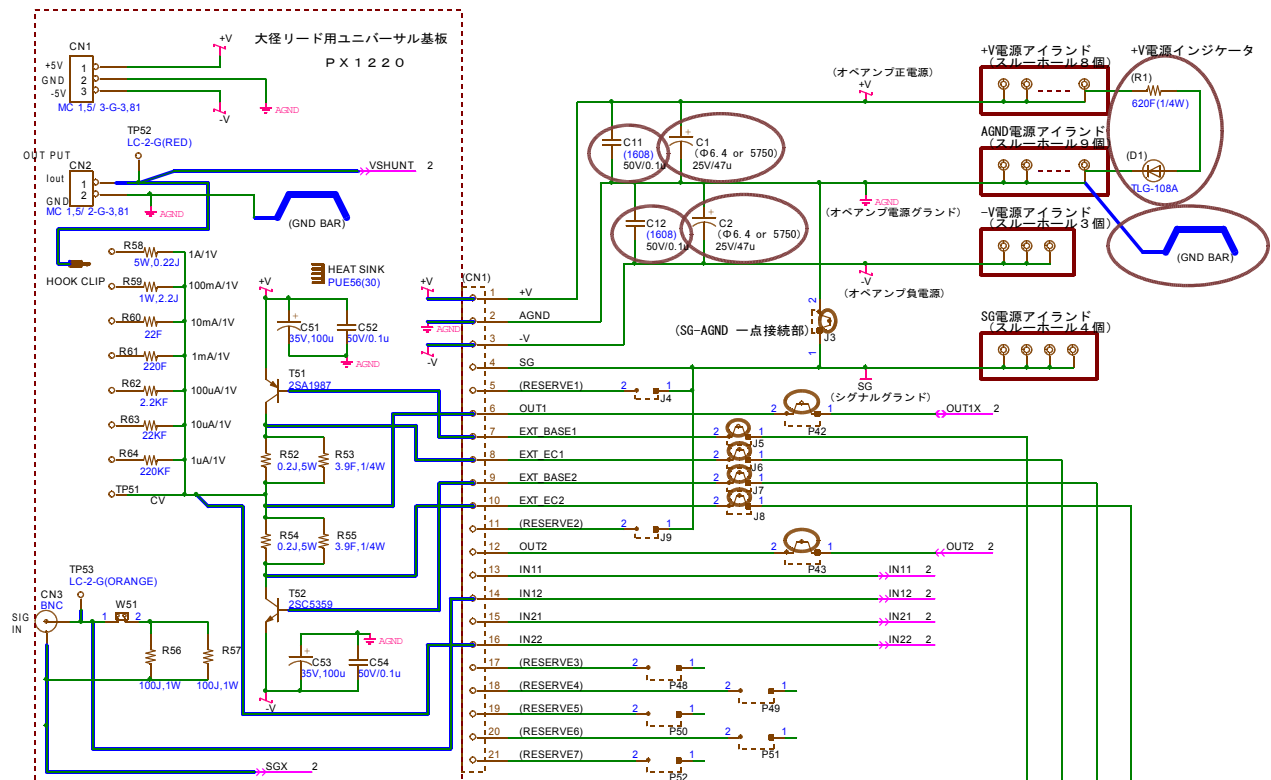
備考 1 : () で囲んだデバイス番号の部品はユニバーサルエリアに実装する。

Rev. A : P30A 220pF 追加

備考 2 : 内はPX1330上の回路、それ以外はPX1220上に部品を実装する。

PX1220上の部品のデバイス番号は50以上としている。

●部品実装図 (1 / 2)



- 備考 1

は部品実装を示す。

●備考 2

は 2 D 配線を示す。

●備考 3

はパターンで接続

●備考 4

3 ピン仮想パーツのデバイス番号呼称について
 Pn の 1-2 ピン間に実装したデバイスを PnA
 Pn の 2-3 ピン間に実装したデバイスを PnB
 Pn の 1-3 ピン間に実装したデバイスを PnC (チップ部品不可)
 と呼ぶものとする。
 4 ピン仮想パーツについても同様に PnA, PnB, PnC, PnD とする。
 4 ピンジャンパについても同様に JnA, JnB, JnC, JnD とする。

PX1330 (ProXi) 8 ピンシングルオペアンプx 2 個用 部品実装設計テンプレート	
Model Name	
F G用バッファアンプ 部品実装図	
Title	
T 1 3 0 7 0 1	
Document Number	Page
	1 / 2

(Rev. A)

● 部品実装図 (2 / 2)

